

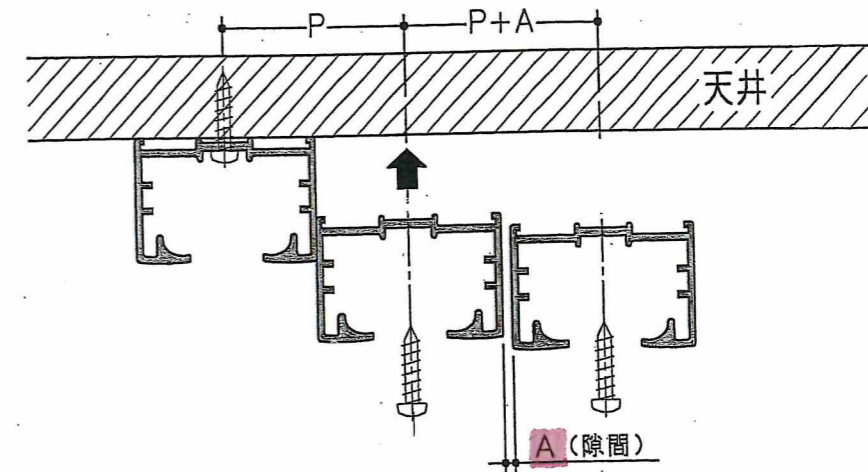
一般・企業用

第60回富山県発明とくふう展 内容説明書 (令和4年度)

出品区分	1 企業の部 ・ 2 一般の部		受付番号	52
ふりがな	たてぐみ きのう かいせん			
作品の名称	建具の機能改善			
ふりがな	だいえいけんざい	ふりがな	はやし かずひこ	ふくろ としお
会社名	大栄建材(株)	発明者名	林 和彦	袋 俊男
出願状況	□未出願 ☑出願済	出願番号	特許・実用・意匠 2019-103019号	令和1年5月31日
		公開番号	特許公開 2020-197040	令和2年12月10日
		登録番号	特許・実用・意匠 第6905758号	令和3年6月30日
特徴と要点 (必ずご記入下さい)				
(1) 近年の住宅は、ライフスタイルの変化に合わせて、部屋をしきる建具の需用が増えている。そこに使う、天井レールは、取付け位置が高い。又、長さも4m~6mと長いため、取付けが、ずれ易く、建具の閉閉精度が出にくい。そのため、時間がかかり、複数人で行う等、施工に苦勞しています。 <small>〔右ページの 下図を参照〕</small>				
〔注〕取付けが、ずれ易いとは、右ページ上段の図のAのことです。				
(2) これを改善するため、当発明は、天井レールを、独自構造に工夫し、凹部と凸部を交互に、もうけて順番に、凹部の溝の中に、スッポリと自動的に凸部が納っていくように、することで、建具の閉閉精度の向上と、施工負担の軽減の両方同時に、改善することに成功しました。				
(3) この構造の発明によって、引戸建具の商品競争力と取付け品質が良くなり国内で最大手の大和ハウス工業等に採用されて、今では、富山から全国各地へ、月間2,500枚以上を、コンスタントに出荷しています。				
(4) このように、差別化技術で社会的にも、好評をいただいて、我社の売上げと利益を稼ぐ、中心商品になっています。				

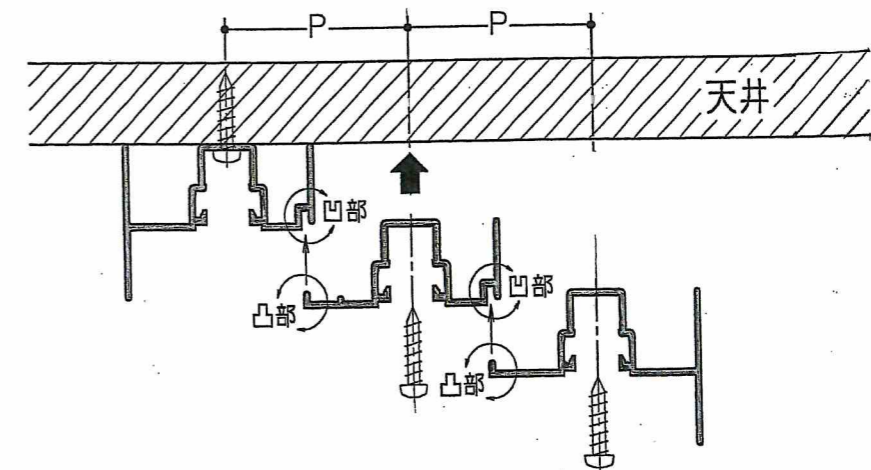
他1名

従来品の天井レール取付け基準



□ 従来品は、A(隙間)が簡単に生じることから建具の開閉に、支障が出ました。また、取付けの精度を出すのに、大変時間が掛っていました。

発明品の天井レール取付け基準

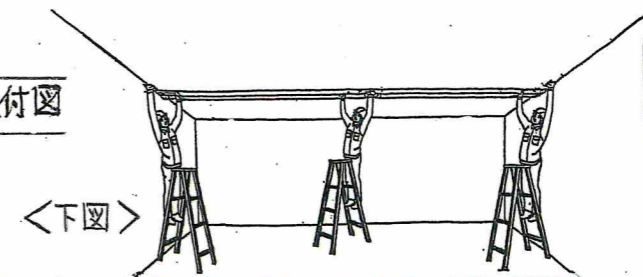


□ 発明品は、ピッチ(P寸法)が100%一定になるため、建具の開閉クレームは、ほぼなくなりました。同時に取付け位置が自動的に決る為、施工負担が大幅に軽減されるようになった。

● そのため、経験が少ない職人さんも、精度を出せるようになりました。

参考

天井レールの取付け図



※天井レールの取付けには、ねじ止め作業が共なので、施工の効率化が課題であった。